

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもプラス系満教室		公表日		令和 7年 4月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・マットなどで仕切りを作り、静かにブロックやお絵描きの出来るスペースづくりを行っている。 ・利用人数が多いときは年長さんなど、外出をして活動している。	活動内容によって空間の使い方を工夫出来るよう、職員間での話し合いや研修等を行いたいです。また、姉妹教室への見学等を行い参考にさせて頂く機会を作りたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	・職員の人数が多く、子供一人ひとりに寄り添えることが出来ている。	配置基準より多いので、もう少し療育の質を高められると良いなと思っています。研修の機会を増やしていきたいです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	1	・今後、視覚支援を増やしていく。 ・出来るだけ物を置かない。 ・机の高さ、強度が不十分。	物の整理を行い、視覚情報を少なくし宿題に集中して取り組める環境を作りたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・毎日かかさず掃除をして清潔を保つことができています。 ・遊ぶものによって区切られている。	定期的の大掃除を行っているので、今後も引き続き取り組んでいきたいです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	2	・業務改善の必要性があった際にはミーティングにて協議している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	3		保護者からの評価表を受け、改善につなげたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	3	・毎月管理者との面談を行って言いやすい環境。	風通しの良い雰囲気作れるよう、日頃から職員間でのコミュニケーションを大切にしていきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	5	・外部評価を受けていないので今後必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	3	・動画研修だけでなく、外部の研修や勉強会等へ積極的に派遣されている。	色々な研修やセミナーを探して参加する機会を増やしていきたいです。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0	・保護者やこどもより聞き取りを行い、職員間にて協議し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・共有の伝わり方に職員差がある。	伝わり方の差が出ないよう、共有の仕方を工夫したいです。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	3	・職員がプログラムを組み立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	3	・外出やクッキングも入れて飽きないようにしている。	職員が増え、新しい活動にもチャレンジしているの でこれからも新しいことにチャレンジしたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	・支援は個別、集団で児童のニーズに合わせて行っ ているが計画に基づいてではなく状況によって行われ ているように感じる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	14	1	・ミーティング内で実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	・ミーティング内で実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	15	0	・毎日行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	15	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	15	0		言葉でのコミュニケーションが難しい子供でも自己 選択できるよう、視覚構造化を行い環境を整えてい きたいです。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	15	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	3		情報共有がしっかりと行える様に職員間にて共有の 仕方を検討したい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	13	2	・対象児がいらないが、対応できる体制は出来ている。	姉妹教室との連携を図り、ライフステージに合わせ て継続して支援を受けることが出来るよう努めてい きたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14	1		・今後機会設置できるよう努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	8	7	・外出先で交流する場を設けている。 ・児童館を利用したことはあるが、交流をしたことが ない。	地域のイベントに参加し、地域の子供たちとも交流 できる機会を増やしていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	14	1	・わからない。	協議会への参加は現在無いが、今後機会があれば検 討したいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課 題について共通理解を持っているか。	15	0	・送迎時などにて、その都度子ども達の状況を共有し ています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	12	3	・研修は行ってないが、個別で面談や情報提供等を 必要に応じて実施している。 ・家族などの参加できる研修が分からない。	面談等は必要に応じて開催していました。 事業所開催だけでなく、地域での親子セミナー等あ れば保護者さんにも情報提供をしていきたいと思 います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	11	4		全職員が応えられるよう、職員間で共有を行い理解 を深めていけるよう努めていきたいです。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0	・児童発達管理責任者より説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・必要に応じて、事業所で面談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	8	・今年度実施出来なかったので、次年度実施出来るよう努めたい。 ・保護者会をしたことがないのでやってみたい。	定期的に保護者交流の場を提供できるように努めていきたいです。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		ご意見があった際には迅速に対応できるように心がけていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・日頃の様子をLINEにて伝えている。 ・SNSをこれからまた利用したい。	インスタグラムを活用し、日々事業所での活動を公表していけるよう努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	6	・定期的に体験会を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	・今後は出来るよう周知面を強化していく。	職員間での周知は出来ているが、ご家族さんには周知が足りていない部分もあると思います。安心して頂けるよう、避難訓練等を行った際には詳細を共有していきたいです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・年に2回避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・現在、食物アレルギー児がいないため、対応方法が分からない。自分自身で確認を行う。	現在、アレルギー児童はいませんが、今後アレルギー児童受け入れがあった際にはおやつBOXを分ける、食器類を分ける等徹底した管理を行い、ご家族さんと連携しながら職員間で共有します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	・安全計画を作成し、定期的に更新や点検を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・終礼にて共有したり、書面にて残す事で再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	0	・対象児がいなくても対応できるよう定期的な研修や体制構築に努めている。		